

# 俺と犬と海老 の寿司

book-fukunokami

## 俺と犬と海老の寿司

---

「俺も海老の寿司を食うんだ」

俺は犬に向かって叫んだ。

「海老の寿司か、わん？」

「そうだ、レオも海老の寿司を食うんだ」

しまった、俺、オレとレオを言い間違えた。

ぼん、音がして犬は海老の寿司の模様になった。

ふう、どうやら、レオ、は関係なさそうだ。

「いい色だね」

「そうだ、いい色だ、わん」

俺は犬の海老模様を見て、ますます海老の寿司が食いたくなかった。

「うまそうだよ、うまそうだよ」

「うまそうか、わん？」

おっと、あぶない、ここで、うまそう、と言えば犬が馬になっちまうかもしれない。

あぶないところだった。